

『あなたの情報カード』を 活用した情報共有

松阪地区薬剤師会 医療安全対策委員会

ユニスマイル薬局いざわ店 大久保琢爾



MATSUSAKA
Pharmaceutical Association

お薬手帳を活用した情報共有について

薬薬連携の会

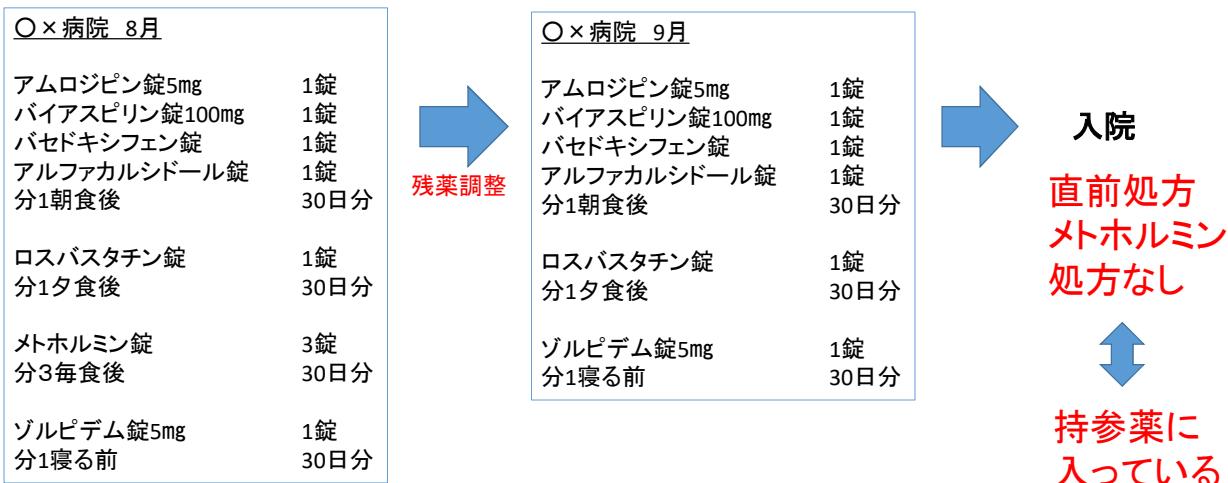
1. 残薬調整時に処方が消えてしまう問題
2. 手帳更新時に表書きが消えてしまう問題



医療安全対策委員会

1. 残薬調整時の手帳記載の対応
2. あなたの情報カードの作成・配布

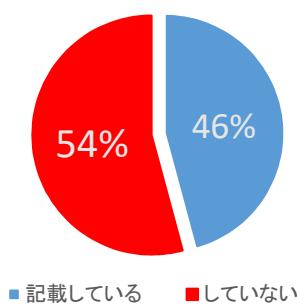
残薬調整時に処方が消えてしまう問題



残薬調整時に処方が消えてしまう問題

- 【設問】残薬調整時に手帳に記載をしているか

残薬調整時の手帳記載 (n=24)



54%の薬局では、必要な調剤分以上の残薬がある場合に、残薬調整時に手帳から薬が消えてしまう

薬薬連携の会アンケート結果2023年07月より

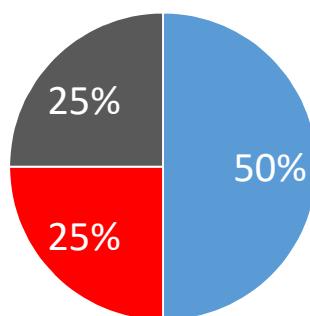
まずは、周術期に注意すべき薬剤について、残薬調整時に記載をしよう！

- **抗凝固薬、抗血小板薬、循環改善薬**
- 降圧薬
- **血糖降下薬**
- PDE-5阻害薬、肺高血圧症治療薬
- 女性ホルモン製剤(LEP製剤、低用量OCなど)
- SERM(ラロキシフェン、バセドキシフェン)
- 抗悪性腫瘍薬

KEY WORD:「手帳に記載」は「多職種連携」

残薬調整時の手帳記載(ハイリスク薬)についてのアンケート結果

残薬調整時の手帳記載(ハイリスク薬)N=24



継続した取り組みの周知と啓発が必要

■ 知っていて始めている ■ 知っているが記載していない ■ 知らない

医療安全対策委員会アンケート結果2025年01月より

手帳更新時に表書きが消えてしまう問題

はじめにあなた自身のごとをご記入ください
(薬を処方されるときや緊急時に役立ちます)

姓 名	性 別	年 齢	年 齢
住 所	電 話		
生年月日	年	月	日
アレルギー歴・副作用歴(有・無)		型	
食 べ も の	お薬の名前		
※主な既往歴(該当がある場合は☑してください)			
<input type="checkbox"/> アレルギー性疾病 <input type="checkbox"/> 肝臓疾患 <input type="checkbox"/> 腎臓疾患 <input type="checkbox"/> 心臓疾患 <input type="checkbox"/> 消化器疾患 <input type="checkbox"/> 高血圧 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 脂質異常症 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> 過敏症 <input type="checkbox"/> 前立腺肥大 <input type="checkbox"/> 骨粗しょう症 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> その他()			
※服薬中の一般薬			
一般用医薬品(市販薬)や健康食品、サプリメントなどを利用している場合			

- この手帳表書き、注意すべきことはないと判断しますか?
- それとも、必要事項が書いてないと判断しますか?

実際に「消えてしまった」事例が発生しています

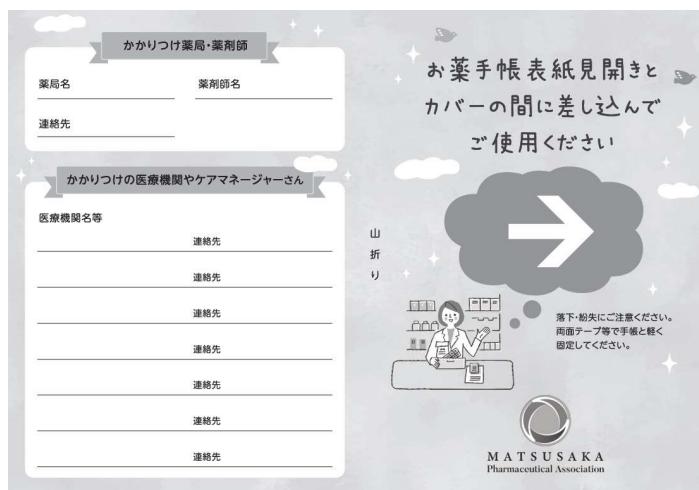
そして生まれた「あなたの情報カード」

- 書き写す手間を省く
- 繰り返し使用できる
- 多職種の方でも使いやすく、見やすいように
- 入院時だけでなく、災害時にも活用してもらえる情報源として

あなたの情報カード(中面)

あなたの情報カード 年 月 日作成			
お名前	(男・女)		
生年月日	年	月	日生
血液型	(A・AB・B・O)		
ご住所	〒 -		
連絡先	携帯電話	()	
	固定電話	()	
緊急連絡先			
※緊急の際に連絡が必要な方にについて、ご関係(親族・親戚・友人・民生委員等)、お名前、連絡先(電話・携帯・FAX番号)をお書きください			
連絡先優先度	ご関係	お名前	連絡先
①			電話・FAX ()
②			電話・FAX ()
③			電話・FAX ()
※このカードに書き込んでおくことにより、お薬手帳を新しくしても、あなたの情報をその都度書き写す手間が省かれます。			
食べ物やその他でのアレルギー歴(有・無)			
お薬の副作用歴(有・無)			
折り主な既往歴(該当がある場合には <input checked="" type="checkbox"/> してください) リ <input type="checkbox"/> アレルギー性疾患 <input type="checkbox"/> 肝疾患 <input type="checkbox"/> 腎疾患 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 消化器疾患 <input type="checkbox"/> 高血圧症 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 呼吸器疾患 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> 緑内障 <input type="checkbox"/> 前立腺肥大 <input type="checkbox"/> 脳血管障害 <input type="checkbox"/> 脊柱症 <input type="checkbox"/> その他()			
メモ(病歴や治療歴等もご記載ください)			

あなたの情報カード(外面)



「あなたの情報カード」の使い方

ナカ面カラー



ソト面モノクロ

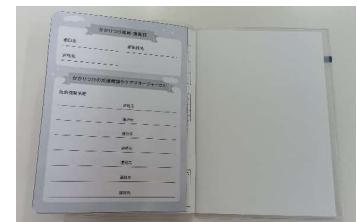


完成



手帳カバーと表紙の間に
差し込むだけ

折り返すと、医療機関の情報等が
確認できます



「あなたの情報カード」配布を行いました

- ・松阪地区の会員薬局に50枚ずつ
- ・済生会松阪総合病院、市民病院、松阪中央総合病院の薬剤部、三重ハートセンターに30枚ずつ
- ・各地域包括さんに30枚ずつ
- ・かかりつけの患者さん、副作用歴、アレルギー歴の多い患者さんに優先して配布いただくようにアナウンス

松阪地区 医療と介護の連携ハンドブックにも取り上げていただきました

松阪 地域 医療と介護の連携ハンドブック

～本人の望む暮らしをささえるために～



令和7年3月
まつさか医療～誰の見える連携会議
松阪市 多気町 明和町 大治町

薬に関する連携のツール

あなたの情報カード

あなたの情報カード (デザインはイメージ)

表面 裏面

在宅訪問応需薬局一覧

松阪地区薬剤師会ホームページに松阪地域で訪問薬剤管理指導に応じることができる薬局一覧が掲載されています。(在宅医療相談窓口のバナーから)
<https://matsu-yaku.com/zaitakusoudan/>

●ツールに関するお問い合わせ●

松阪地区薬剤師会 在宅医療サービス相談窓口

お薬手帳の表紙と手帳カバーの間に挟み込んで使用します
(記事協力:一般社団法人 松阪地区薬剤師会)

35

使用状況についてアンケートを実施

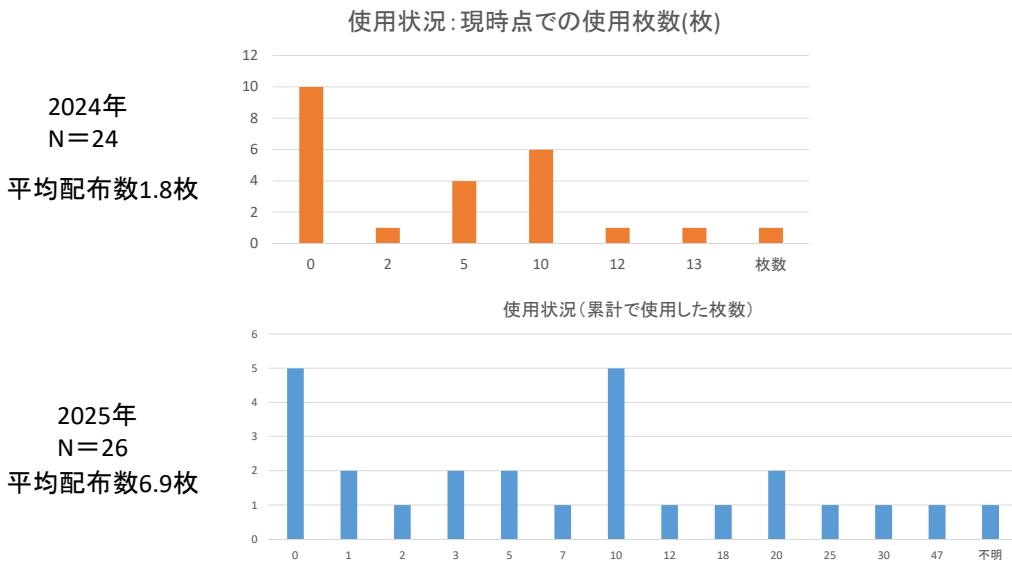
2024年
回答数:24件



2025年
回答数:26件

- ① 使用状況:現時点での使用枚数(枚)
配布でネックになっているございましたらお聞かせください(2025年のみ)
- ② 配付相手先(該当に☑複数回答可)
- ③ 反響:各配布されたご相手より頂いたお声がありましたらお聞かせください
- ④ 患者カードを実際に使用して得られた好事例等がありましたらお聞かせ下さい
- ⑤ カードに関してのご意見や今後の改善点などありましたらお聞かせください

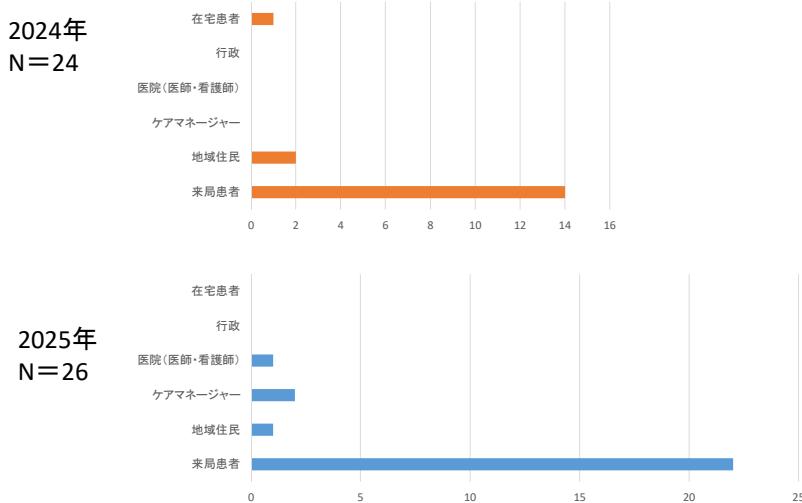
①使用状況: 現時点での使用枚数(枚)



配布でネックになっていることがありますたら
お聞かせください(2025年のみ)

手帳カバーがないと使い辛い
少しかさばる
存在を忘れていました。申し訳ありません。
説明に時間がかかるので、待っている患者さんがいると難しい
通常業務が忙しいときは、渡しそびれてしまうことが多い
患者さんが少ない
初期は全員に配布するとスタッフが勘違いしていた。訪問患者のみにする等基準があればわかりやすいかと思います。
落下した時の個人情報として、他人が個人名を把握できないようにイニシャルのみにすべきか
渡してもあまり使用していない
お薬手帳を持っていない方がほとんどでこちらもまだ習慣になっていないのでついつい忘れてしまう

②配付相手先(複数回答可)



③反響:各配布されたご相手より頂いたお声がありましたらお聞かせください

2024年

「手帳が変わったときに忘れそう」来局患者より

新しい手帳になるタイミングで、見開き部分を書き写すのがすごく大変だといわれたので、記入してお渡しました。

大きな反応はなかったがこれからあるかもしれない。
【患者】みやすくなつていいわ ありがとう

副作用歴が多い方に好評でした

毎回記入しなくてよいのでありがたい

毎回書き換えなくってよくなつた 楽です！

2025年

わかりやすくていい、書き写しの手間が減って嬉しい
便利ですねとおっしゃられる方ばかりです。

書き直す必要がなく嬉しい
お薬手帳が新しくなる都度転記しなくてよくなつたので助かる
便利そうやな~、カードを落としてしまいそうでちょっと怖いな~
デザインがかわいい、繰り返し使えるので便利
納得してもらう人や、黙ってもらう人があった
副作用等記入事項がある場合に配布しているので好意的です。
お薬手帳の更新が楽になる
特になし
とくにありません

④患者カードを実際に使用して得られた好事例等がありましたらお聞かせ下さい

2024年

説明する時間をしっかり設ければもっと活用できると思います。
副作用歴が目立ってわかりやすく意識しやすくなる
ケアマネジャーさんに連絡しやすくなりました(担当がわかりやすくなつた)

2025年

かかりつけの患者さんにお渡しすると好評でした。
服薬指導中に副作用が判明したため、その場で情報カードの副作用歴の欄に薬剤師が記入してお渡ししたところ、
その他の部分を自宅で記入いただいて次回来局時に持参いただいた
お渡しした次の来局時、アレルギーの記載をいただき、新しく食物アレルギーがあることがわかつた
手帳をよく使う人には好評でした
毎回副作用を引き継いで記入している患者は薬剤師が楽になりました。

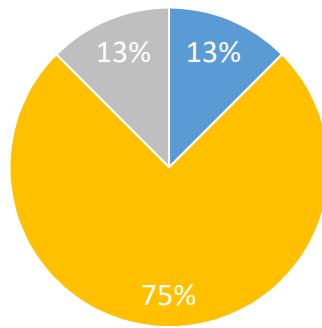
⑤カードに関してのご意見や今後の改善点などありましたらお聞かせください

手帳カバーを配布していないので、今後の検討事項だと思いました。
紙製ということもあり、カバーに入っていない部分がぼろぼろになってしまわないかという不安はありました。
アレルギーや副作用歴のある患者さんにお渡ししています。ご自分で書き込んでいる方もおられ、喜んでいただいております。
まだほぼ使用できていないため、今後また積極的に使用してみて様子みたいと思っています。

分譲はどこにありますか。追加したいです
もっと積極的に利用したい
紙の色を変えてはどうでしょうか？ 目立って良いと思います。
使用意義の説明をもっとしやすくしてほしい(災害時の活用等)
電子お薬手帳になったときに、こういった情報の引継ぎはどうなるのでしょうか
「あなたの情報カード」についてではないので申し訳ないですが、肺炎球菌ワクチン、
帯状疱疹ワクチン等高齢になってからする予防接種の記録シールを貼る台紙もあると便利と思いました。記録シールをお薬手帳に挟んでみえる方が結構いらっしゃいます。この頃健康手帳はあまり見かけなくなりました。
シール用紙にコピーできるもの

手帳を活用した連携は道半ば

手帳記載(退院時の情報共有、一包化の括弧書き等)を通じた
多職種連携について(n=24)



■手帳に記載が増えたと感じる ■以前と変わりないと感じる ■取り組みを知らない

医療安全対策委員会アンケート結果2025年01月より

手帳に記載は多職種連携

